

ま え が き

国民健康保険制度は、昭和 36 年に国民皆保険制度が確立されて以降、我が国の医療保険制度の中核として大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、少子高齢化の急速な進展や生活習慣病の増加、医療技術の高度化により医療費が年々増大し、国民健康保険財政は厳しい状況に置かれています。

こうした中、平成 25 年 8 月に国民健康保険の保険者を市町村から都道府県に移行することが、国の社会保障制度改革国民会議の報告書に明記されました。

また、同年 12 月には社会保障制度改革の全体像や手順・工程を明らかにする「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」が成立したところです。

こうした国民健康保険制度の変革期において、制度を円滑に運営していくためには、各保険者が現状をよく把握・分析し、国民健康保険料（税）の収納率の向上に努めるとともに、各種保健事業の推進により、健康の保持増進と医療費の適正化を総合的に進めていくことが重要となってきます。

本書は、国民健康保険事業状況報告書（事業年報）を中心に、本県における国民健康保険事業の状況を取りまとめたもので、今後の国民健康保険事業運営の一助として広くご活用ください。

最後に、本書の作成にあたり御協力いただきました各保険者並びに関係機関の方々に対し、心から御礼申し上げます。

平成 26 年 10 月

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課長